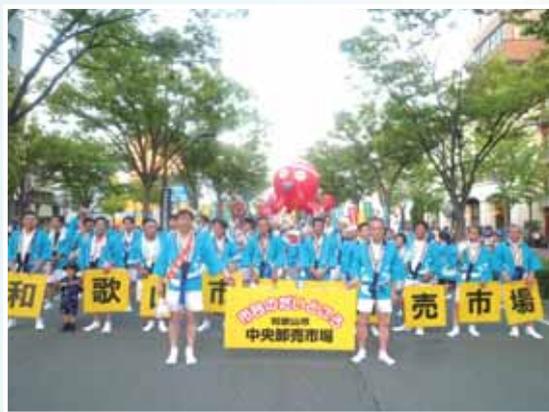




 **和歌山市  
中央卸売市場**



**和歌山市  
和歌山市中央卸売市場協会**

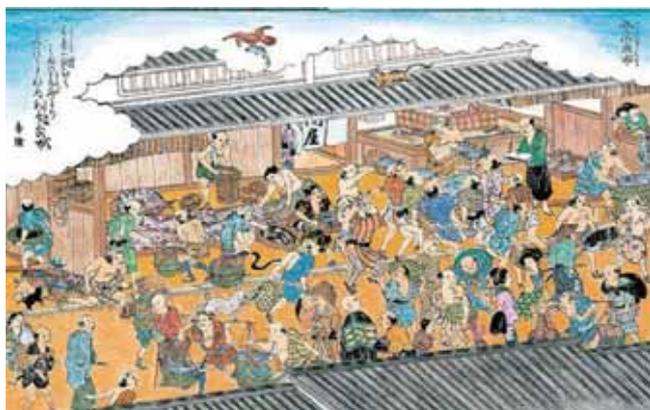


# 『和歌山市中央卸売市場』の歴史

## 市場のなりたち

慶長(1596年～)の始め頃「西ノ店」に「<sup>たな</sup>広瀬東ノ店」から移転した魚市ができる。

また、「中ノ店」にも中魚町という魚市の場があった。



画：西村中和 彩色：芝田浩子(ニュース和歌山「城下町の風景」より)

天保7年(1836年)には湊浜(紀の川河岸)築地でも魚の市をするようになり「中ノ店」は主として塩もの「西ノ店」「湊築地」は生ものを扱った。

明治維新後、問屋株制が廃止され3つの市場はなくなったが、もともと魚仲買が問屋から買受けた魚を小売商人に分売する場所であった「東鍛冶屋町」を魚市場とし、すべてここで取引するようになった。しかし、昭和20年7月9日夜の戦災で市場問屋付近一帯が焼野原と化したためその後は「和歌浦出島浜」で魚の市が行われるようになった。

「万町」の青物市場も「西ノ店魚市」と同じく慶長の頃に始まり、青物から凍豆腐、割菜、椎茸、荒布など、乾物類一切をこの市場に集荷させたため、その区域は本町1丁目、大工町、鍛冶屋町、駿河町、福町等に亘り非常に繁栄した。一方、柿、柑橘など果物類を扱う山物市場が「田中町」にあったが、明治維新後の旧問屋制廃止とともに「万

町」の青物市場に移った。そのため、「万町市場」は益々盛んとなったが、昭和20年7月の戦災で300年の長い歴史を閉じた。戦後「万町」付近は問屋街となった。



中央市場全景

## 中央市場

戦後、いち早く東和歌山及び市駅付近その他に自由市場が発生し、市民の生鮮食料品はこれらのルートを経て賄う状態であった。また「万町市場」も復旧しつつあったが、和歌山市は物資流通秩序の確立と適正価格による取引を行い市民食生活の安定を図るため、昭和31年11月湊紺屋町に「和歌山市中央市場」を開設した。





## 中央卸売市場

昭和30年8月和歌山県「和歌浦魚市場」が開設されており、昭和38年に市へ移管された。

その後、食料品需要の高まり及び市場施設の老朽化と狭隘化、また自動車の大型化による駐車場不足問題等を改善するため「和歌山市中央市場」と「和歌浦魚市場」を移設し、全国37番目の中央卸売市場として昭和49年4月19日に『和歌山市中央卸売市場』を和歌山南港(現在の住所)に開場した。

## 中央卸売市場の役割

中央卸売市場は、毎日の食生活に欠かすことのできない生鮮食料品(野菜、果実、生鮮水産物、加工水産物)などを、日本国内はもとより海外からも集荷して適正な価格をつけ、すみやかに分荷し、市民の台所へ届ける役割を担う物流の拠点である。消費者には多種多様な生鮮食

料品を安定的に適正な価格で供給して市民生活の安定と向上を図り、また生産者には継続的で安定的な販売ルートを確保するという重要な役割を果たしている。



和歌山市中央卸売市(S49当時)



野菜のセリ風景



おかげ様で40周年



# 『和歌山市中央卸売市場』の 仕組みと働く人たち

いろいろな職種の人たちがそれぞれに大切な使命と役割をもって働いているんだよ。

和歌山市のホームページでも知ることができるよ!

和歌山市市場

検索

[http://www.city.wakayama.wakayama.jp/menu\\_1/gyousei/ichiba/](http://www.city.wakayama.wakayama.jp/menu_1/gyousei/ichiba/)



## 生産者 (せいさんしゃ)

農業や漁業を営む人たち



## 出荷団体 (しゅつかだんたい)

農業協同組合、漁業協同組合、出荷組合など生鮮食料品を共同して出荷する組織をいいます。

## 産地仲買人 (さんちなかがいん)

生産者から買い付けた生鮮食料品を出荷する者をいいます。



## 卸売業者 (おろしうりぎょうしゃ)

農林水産大臣の許可を受け、生産者、出荷団体等から委託または買付により生鮮食料品の集荷を行い、せり・相対取引などの方法によって、仲卸業者や売買参加者に販売する者をいいます。



## 仲卸業者 (なかおろしぎょうしゃ)

(なかおろしぎょうしゃ)

開設者(和歌山市長)の許可を受け、市場内に店舗を置き、卸売業者から卸売を受けた生鮮食料品の仕分け・調整を行い、買出人等に販売する者をいいます。

### 用語メモ

**委託** (いたく) ..... 生産者、出荷団体及び産地仲買人が、卸売業者に品物の販売を任せることだよ。

**買付** (かいつけ) ..... 卸売業者が生産者、出荷団体及び産地仲買人から直接品物を買付けることだよ。

**競り** (せり) ..... せり人が仲卸業者、売買参加者に公開的に競争させ、そのうち最も高い価格を申し出た者を買手とする販売方法だよ。

**相対取引** (あいたいとりひき) ..... 卸売業者が買手との話し合いによって価格、数量などを決定する販売方法だよ。



## 食の安全と安心をご提供



### 売買参加者 (ばいばいさんかしゃ)

開設者(和歌山市長)の承認を受け、卸売業者から生鮮食料品の卸売を受ける小売業者や食品加工業者などのことをいいます。

和歌山市  
中央卸売市場



### 買出人 (かいだしにん)

仲卸業者から生鮮食料品を買い受ける小売業者、飲食業者などのことをいいます。



### 関連事業者 (かんれんじぎょうしゃ)

市町の許可を受けて、運送業など市場機能を充実させるための業務や、飲食業の物品販売業など市場利用者がより便利になるような業務を営む者をいいます。



### 消費者 (しょうひしゃ)

(しょうひしゃ)

お店や学校・自宅などで安心の食生活をしているわたしたち。



量販店・小売店で



レストランで



学校で





# 『和歌山市中央卸売市場』の 市場活性化の取組み

## 市場まつりの開催

毎年12月に「市場まつり」を開催。新鮮野菜・果物・鮮魚などの即売会やステージイベントの実施、またくえ鍋・あんこう鍋・ふぐ鍋などの大鍋コーナーも大盛況



## わかやま商工まつり

製品展示や体験コーナーを通して、地場産業の優れた技術を発信する「和歌山商工まつり」(和歌山商工会議所主催)で模擬せりと即売会を実施



## 紀州おどり「ぶんだら節」

昭和44年に市政80周年を記念して誕生したのが紀州おどり。毎年10万人を超える人出で賑わい、『和歌山市中央卸売市場協会』として参加





## 市場の概要

●位置：和歌山市西浜1660番地の401

●総敷地面積：132,236.99㎡

| 主要施設名 | 管理庁舎  | 卸売場   | 仲卸売場  | 買荷保管所 | 業者事務所 | 関連事業者店舗 | 倉庫・加工場 | 新冷蔵庫棟 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|--------|-------|
| 面積(㎡) | 1,202 | 8,130 | 8,910 | 1,520 | 4,459 | 5,518   | 3,051  | 1,494 |

●取扱実績

| 区分 |    | 平成23年度 |           | 平成24年度 |           |
|----|----|--------|-----------|--------|-----------|
|    |    | 取扱量(t) | 取扱金額(百万円) | 取扱量(t) | 取扱金額(百万円) |
| 青果 | 野菜 | 58,119 | 11,402    | 56,870 | 10,499    |
|    | 果実 | 17,249 | 4,512     | 17,172 | 4,497     |
|    | 計  | 75,368 | 15,914    | 74,042 | 14,996    |
| 水産 | 生鮮 | 10,214 | 7,231     | 9,892  | 7,143     |
|    | 冷凍 | 2,333  | 1,328     | 2,510  | 1,245     |
|    | 加工 | 8,060  | 4,272     | 7,613  | 3,935     |
|    | 計  | 20,607 | 12,831    | 20,015 | 12,323    |

## 将来に向けて(新市場の展開)

観光客をターゲット!

### わかやま産にこだわった食事&お買い物ツアー

一般の人が入場できない場所で、食事ができ新鮮な野菜・魚が買える!

子どもをターゲット!

### 食育推進、わかやま地場産品と市場の魅力PR

- ◎和歌山産品や旬の新鮮食材を使用した料理の提供
- ◎地場産品・写真等展示スペース設置
- ◎市場探検ツアーの実施
- ◎料理教室(魚のさばき方、果物皮むき)の開催
- ◎市場学校(和歌山の食文化、旬の野菜・果物・魚試食)の開催
- ◎農業・漁業体験学習とのコラボ





〒641-0036 和歌山市西浜1660番地401

### 和歌山市中央卸売市場

Tel : 073-431-3161

Fax : 073-431-3164

E-mail : shijo@city.wakayama.lg.jp

### 和歌山市中央卸売市場協会

Tel : 073-499-7731

Fax : 073-499-7732

E-mail : qqrg2hb9k@dream.ocn.ne.jp